



2014年5月22日記者発表  
(公益社団法人) 日本伝熱学会

抜山記念国際賞（第2回）はマサチューセッツ工科大学の Gang Chen 教授へ

5月22日、日本伝熱学会総会（浜松市）にて、抜山記念国際賞（The Nukiyama Memorial Award）の2回目の受賞者として、マサチューセッツ工科大学（米国）の Gang Chen 教授（別紙参照）が選ばれたことが報告された。同教授のナノスケールの熱輸送やエネルギー変換などによる伝熱科学への顕著な寄与が認められた。来る2014年8月10～15日に京都市で開催される第15回国際伝熱会議で受賞講演および授賞式で賞状、楯、賞金50万円が贈られる。

同賞は、液体の沸騰現象に特異なモード変化が現れることを初めて発見し、その特性曲線が Nukiyama Curve として世界に知られる伝熱学のパイオニア、抜山四郎東北大学名誉教授（故人）の名前を冠して、伝熱学、熱科学、熱工学に関連した分野で国際的に秀でた活躍をしているおよそ50歳未満の国内外の科学者1名に、日本伝熱学会より2年毎に授与される賞である。

今回は2013年6月以来、世界の科学者、研究者宛からの推薦を公募し、国際賞委員会における厳正な審査を経て受賞者が決定された。同委員会の委員は以下の通りである。

<抜山記念国際賞委員会名簿>

委員長	門出政則	(佐賀大学 名誉教授)
副委員長	吉田英生	(京都大学 教授)
委員	Gian Piero Celata	(ENEA 研究所 教授, イタリア)
	Satish Kandlikar	(Rochester Institute of Technology 教授, 米国)
	Joon Sik Lee	(ソウル国立大学 教授, 韓国)
	岡崎 健	(東京工業大学 教授)
	Terrence W. Simon	(ミネソタ大学 教授, 米国)

(以上)